



子育て すくえあー

保護者・子ども・地域・保育園をつなぐ情報紙



発行：葛飾区子育て支援部保育課 03-5654-8296

子育てをしていると、「こんなときどうしたらいいのだろう？」と思うことはありませんか。今回は具体的な事例を踏まえて、子どもとの向き合い方、対応の仕方をご紹介します。

こんなとき… とうする？

Q1. お子さんが描いた絵を持ってきました。



『すごーい！上手ね！！』と伝えます。



そうですね！それも良いですが、お子さんにとっては「この前も同じこと言われた…」と思うこともあるかもしれません。



確かに…どうしたらよいでしょうか？



例えば『この線がとても上手にかけたね！よく見ているね！』と事実を認めてあげます。保育園では『〇〇ちゃんが描いたのよ！』とみんなの前でほめて認める機会を作っています。ほめることは認めることと同じです。認められる経験を積むと自分自身の存在そのものを認められることへと繋がります。評価するのではなく、お子さんと一緒に喜んで共感し、認めていく姿勢が大切なポイントです！

Q2. お子さんが静かにしなければならない場所で大声を出しました。



『静かに！ちゃんとして！！』と伝えます！



そうですね。静かな場所での大声は周りの迷惑になりますよね。しかし、お子さんにとって“ちゃんとして！”という言葉から正しい行動へと移すのは難しいと思います。お家の方も周りに気を遣い、つい叱ってしまうことも多くありますよね。



では、どうしたらよいですか…？



命の危険やけがの危険がある時には強めに制止することが大切です。それ以外は「ねずみさんぐらいの声がマルだよ(※)」など望ましい行動を具体的に伝えたり、「大きな声を出すのは楽しいけど、まわりの人がびっくりするから今はやめようね」と行為を止め、人格は否定しない伝え方をします。

※ねずみさんぐらいとは…声の大きさを動物に例えて伝えています。

★手作りコースター★

【材料】 段ボール、はさみ、定規、ペン、毛糸、くし、ゴム通しや手芸用の太い針など

【作り方】

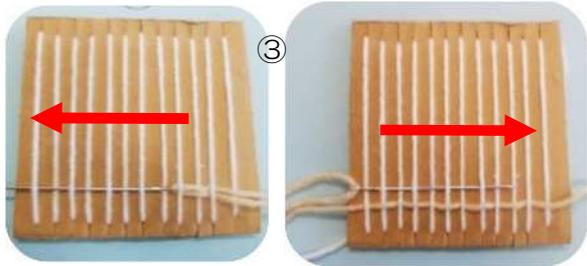
①固めの段ボールを用意し、横 13 cm 縦 14 cm に切る。

上下に 1 cm 間隔で印をつけ、はさみで切り込みを 12 個入れる。

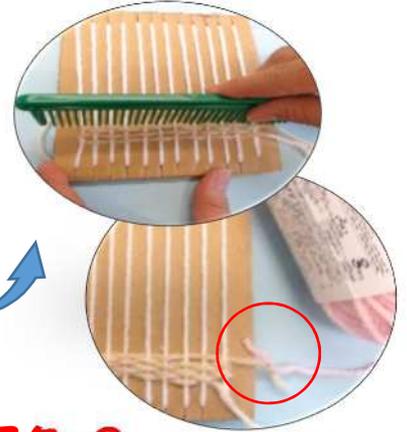
②左下の切り込みに 10 cm の毛糸を残し引っ掛け、上の切り込みに糸をかけたなら、裏を通して下の切り込みにひっかける。これを繰り返して交互に糸をかけ、最後は 10 cm 位残して毛糸を切る。

③毛糸を適当な長さに切り、ゴム通しや安全な手芸用の太い針に毛糸を通す。

1 段目は向かって右端から左へ 2 本目から偶数の糸をすくっていき、最後の糸は 10 cm 位残したままにする。2 段目は、折り返し、左端から右に 2 本目から偶数の糸を順にすくう。



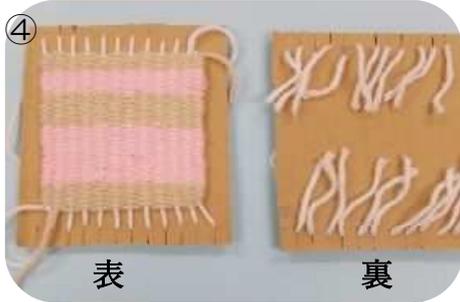
くしなどを使って下げると綺麗に仕上がります。毛糸の色を変えるときは、毛糸同士を結んで編み続けてください。



④編み上がったら裏返し、裏側の毛糸を中央で切る。

⑤毛糸を端から順に切り込みから外し、隣同士の毛糸で結ぶ。

⑥結んだ毛糸を切り、長さを揃えたら、完成。



かわいいコースターの完成!



★おじおじボトルキャップ★

【材料】

- ・段ボール
- ・ペットボトル
- ・はさみ
- ・カッター
- ・セロハンテープ
- ・ガムテープ
- ・飾り用のマスキングテープやシール

【作り方】

①段ボールを適当な大きさに切る。

②ペットボトルの飲み口の部分を切り取る。

③切り取った飲み口と同じ大きさの円を段ボールに描き、円の中心をくり抜き②をねじ込む。裏側からガムテープで貼り付けしっかり固定する。
(裏側からさらに段ボールを貼り合わせると土台が丈夫になります)

④ペットボトルのふたは、3 個重ねてテープで固定する。

⑤シールやマスキングテープでデコレーションしたら、完成。



ペットボトルのキャップは、3 個を積み重ねて口に入らないサイズにして安全に遊べるようにしました。